



連携大学合同公開シンポジウム

多職種チーム医療における 意見の違い・対立を

どのように調整するのか ~より良い意思決定支援を目指して~

がん医療の現場では、しばしば治療やケアの方針を巡ってさまざまな意見の違いや対立が交錯します。このような意見の違いや対立をどのように捉えて調整したら良いのかを共に考えたいと思います。シンポジウムでは事例を通してそれぞれの立場からの報告をしていただきます。

医療に従事する多職種の方を対象とした内容ですが、ご興味のある方どなたでもご参加いただけます。多くの方のご参加をお待ちしております。

コミュニケーションにおける信念対立の調整：信念対立解明アプローチの基礎と実際



講師：京極 真きょうごく まこと（吉備国際大学大学院保健科学研究科・准教授）

Ph.D.、作業療法士、解明師見習。
吉備国際大学准教授。
著書は『医療関係者のためのトラブル対応術』
『信念対立解明アプローチ入門』『医療関係者のための信念対立解明アプローチ』
など。他著書・論文多数。
『治療』（南山堂）で信念対立解明アプローチの月刊連載中。

事例を通じたシンポジウム

シンポジスト：内出容子（東京女子医科大学神経精神科助教）リエゾン医師
渡邊直美（東京女子医科大学看護師）がん看護専門看護師
村本ゆう子（東京女子医科大学）ソーシャルワーカー

座長：飯岡由紀子（東京女子医科大学 看護学部成人看護学 教授）
中島恵美子（杏林大学 保健学部看護学科成人看護学 教授）

日時：2016年2月6日（土） 13:00～16:30

場所：東京女子医科大学
弥生記念講堂



〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

参加費無料
申込不要



【アクセス】

- 都営地下鉄大江戸線「若松河田駅」若松口より徒歩5分
- 都営地下鉄新宿線「曙橋」A2出口より徒歩15分
- 都営バス「宿74」「宿75」「早81」「高71」

【東京女子医大前】下車

問い合わせ先：東京女子医科大学 がんプロ事務局 top-g4.bm@twmu.ac.jp

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

東京女子医科大学・杏林大学・帝京大学・駒澤大学